

コミュニティ・スクール委員会

[iCS] だより



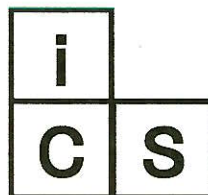
令和7年度5月号

板橋区立新河岸小学校

コミュニティ・スクール委員会

令和7年6月3日(火)

校長 金子 陽子



コミュニティ・スクール 第1回委員会開催

○日時 五月八日(木) 十四時十五分より

○場所 本校二階ランチルーム(さくらそう)

○出席者 十一名(二名欠席)

○内容・議題

- ・ 学校長挨拶
- ・ 委員長の選任
- ・ 令和7年度の学校経営方針
- ・ 今後の児童数について(教育委員会より)

学校公開が行われた五月八日、今年度初めてのコミュニティ・スクール委員会が開催されました。この日は、板橋区主催の合同防災訓練、六年生の防災の授業、保育園と合同のプールでのヤゴとり等、盛りだくさんの授業内容でした。今年度は新たに大学准教授の飯塚委員、大学講師の小河委員、地域センター所長の工藤委員を加え、総勢十三名のメンバーになりました。

また、オブザーバーも五名となり、渡邊委員、新納委員、藤本委員、吉川委員、藤井委員より、多くの知識をお借りしていきたいと思ひます。

教育委員会からは今後の児童数の推移について話がありました。どようにしたら児童数が回復していくか、具体的に行動して行くのが今年度です。委員の皆様のお知恵をお借りして、学校説明会を七月五日(土)に実施するなど、今後も児童数を増やすために全力を尽くしていきます。

令和7年度 CS 委員会メンバー

NO.	委員会区分	氏名	役職
1	地域関係	竹内 康二	(コミュニティ・スクール委員長)
2	地域関係	古谷 茂	(青健高島平地区委員会 会長)
3	地域関係	吉田 茂二	(新河岸町会 会長)
4	地域関係	栗田 秀樹	(新河岸工業会 会長)
5	地域関係	星野 真一	(おおぞらクラブ 会長 元PTA 会長)
6	地域関係	内橋 裕幸	(PTA 会長)
7	地域関係	檀上 智紀	(前中P連 会長)
8	学識経験者	高麗 正夫	(こうま幼稚園理事長・園長 高島平8丁目 町会長)
9	学識経験者	飯塚 裕介	(大東文化大学 社会学部 准教授)
10	学識経験者	小河 園子	(聖学院大学 講師)
11	地域関係	平野 美鶴	(地域コーディネーター)
12	中学校長	武田 雅之	(板橋区立高島第一中学校校長)
13	地域センター所長	工藤 佳朋	(高島平地域センター所長)
14	【オブザーバー】	渡邊 建宏	(前ICS 委員長)
15	【オブザーバー】	新納 みほ	(わかたけ第二保育園 園長)
16	【オブザーバー】	藤本 智宏	(新河岸町会 防災部長)
17	【オブザーバー】	吉川 孝	(新河岸ミュージカル実行委員)
18	【オブザーバー】	藤井 達也	(あいキッズ施設長)

令和7年度 板橋区立新河岸小学校 学校経営グランドデザイン

令和7年4月保護者会資料
校長 金子 陽子

【日本や都・区の教育について】 ・学習指導要領 ・東京都教育施策大綱 ・板橋区教育大綱 ・板橋区教育ビジョン2025 ・いたばし学び支援プラン2025	【教育に関する社会の現状と実態について】 ・新河岸、高島平地域の人口減少・急速に進む少子高齢化による学校の小規模化 ・新河岸小学校の子どもたちと地域、保護者の実態 ・高度情報化時代（SDGs・GIGAスクール） ・教育資源が豊富な新河岸、高島平地域の特性 ・学校教職員の本来の意味での働き方改革の推進 ・不登校やいじめ、LGBTQ、個人情報保護など、人権に関わる諸問題	学校教育目標 ○ よく考える子ども ○ ねばり強くやりぬく子ども ○ 仲よく助け合う子ども ○ 明るく元気な子ども	学びのエリア 高島第一中学校・高島第一小学校・新河岸小学校 【目指す子ども像】 ○ あきらめない子ども 一人のよさや可能性を認識し、自ら考えて取り組み、継続できる子ども
【板橋区が目指す人間像】 自立 貢献 共生 創造		目指す学校像	
【新河岸小学校のめざす子ども像】 ○ 自分のよさとともに他者のよさを認められる子ども（自己肯定感） ○ 郷土を愛し、地域に貢献する子ども（郷土愛）		学校を、子どもたちにとって ○ 安心・安全で居心地のよい場所 ○ 自己実現を図る場所にする。	
子どもが、安心・安全な生活が送れる学校 ・「副担任」と「学年協力者」の配置により、子どもたち一人ひとりを丁寧にみていく指導体制 ・子どもたち一人ひとりを丁寧に見取り、個々の特性に応じた特別支援教育の推進 ・不登校やいじめ、LGBTQ、個人情報保護など、人権に関わる諸問題の未然防止、早期発見、早期対応と関係諸機関との連携と協力 ・SC（スクールカウンセラー）やSSW（スクールソーシャルワーカー）の活用と、主任児童委員・民生児童委員、子ども家庭総合支援センター等様々な支援組織との連携 ・「学校生活の約束」や「学習の約束」など、子どもたちの実態に合わせたルールメイキングと指導の徹底 ・地域や子どもたちの実態に即したより実践的な安全指導や避難訓練の実施 ・危機管理マニュアルの全教職員による理解の徹底（不審者対応、アレルギー対応、事故・災害対応、緊急対応等）	子どもが、自己肯定感を高め、充実感を得られる学校 ・教科書の基礎的・基本的な学習内容を確実に理解するための学習活動の工夫 ・導入における創時の振り返りによる既習の確認と本時の振り返りによる自分の思いや考えを人に伝えることを重視した学習活動 ・「めあて」「ひとりで学ぶ」「みんなで考える」「まとめ」「振り返り」の「板橋区授業スタンダード」による学習過程 ・タブレットや電子黒板などを積極的に活用し、一人ひとりの児童がもつ疑問や思いに応える個別最適な学びと協働的な学びへの取組 ・一人ひとりの考えを大切に「考え、話し合う」道徳授業への取組 ・学校生活をよりよくするために、また、小規模校の特色を生かした学習活動や学級活動、なかよし班活動、学校行事などによる学校・学級づくりの推進	子どもが、郷土愛をもち、地域と共に育つ学校 ・ICS（コミュニティスクール）委員会を中心とし、PTAやおおぞらクラブ、新河岸工業会等、地域と連携した学習や学校行事への取組 ・板橋区や新河岸、高島平地域にある魅力的な「人・もの・こと」等、豊富な地域にある教育資源を活用した学習活動の工夫による郷土愛の育成 ・SDGsに関連した生活科、理科、社会、総合的な学習の時間等、探究的な学習活動の充実 ・高島第一中学校学びのエリアによる、特別な地域性（川と川に挟まれた地域、工場地域、急速な少子高齢化など）を生かした9年間の小中一貫教育の充実 ・近隣保育園・幼稚園への本校の特色における情報発信と日頃からの密接な保幼小連携の推進 ・板橋区や青少年健全育成委員会等が主催する地域行事（大塚祭り大会、ドッジボール大会など）への積極的な参加	教職員が、笑顔で子どもと向き合い、向上を目指す学校 ・授業導入時の創時の振り返りと終末時の自分の思いや考え等、表現活動を取り入れた新河岸小型「板橋区授業スタンダード」の推進 ・子どもたちが高い関心・意欲をもって学習に取り組むことのできる学習指導力の向上 ・一人ひとりの子どもたちに寄り添い丁寧に接することのできる生活指導力の向上 ・笑顔で子どもたちと向き合うことができる明るい風通しのよい職場環境と教員相互が信頼関係の上で尊敬し合うことのできる関係性の構築 ・子どもたちと向き合う時間と授業準備や指導方法を研修する時間の確保 ・校内研究の推進「読み解く力の育成」（国語科の指導を通して） ・防犯事故防止研修の充実と体罰ゼロ宣言 ・様々なハラスメントにおける全教職員の意識の向上



〔5月8日ヤゴ救出大作戦〕
プールでのヤゴとりの様子です。大きいヤゴや小さいヤゴ等、種類も様々でした。



〔5月8日合同防災訓練〕
上の写真は初期消火訓練の様子です。起震車訓練も行いました。



◆新河岸小学校グランドデザイン
校長からは昨年度の学校の様子をスライドを使い、説明しました。五月八日には「田植え」や「ヤゴ救出大作戦」と称してプールでヤゴとりをしたりと、近隣の保育園の園児を招いての交流を行いました。合同防災訓練では、区の危機管理部の協力を得て、児童、保護者、地域とが一体となり訓練を行いました。様々な交流を通して、学校と地域がつながってきています。新河岸小ならではの体験をアピールし、児童数の増加につなげていきます。

令和七年度も少人数のよさを生かし、誰一人取り残さない新河岸小を目指し、子どもたちにとって「安心・安全で居心地のよい場所」「自己実現を図る場所」にしていきます。今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。